

平成 19 年 1 月

各位

拝啓

厳冬の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、**第 12 回生殖・発生毒性学東京セミナー**を別紙の要綱で開催する運びとなりました。

本セミナーは、下記 12 名の実行委員が世話人として持ち回りで開催しています。今回は、(株)三菱化学安全科学研究所の松浦 郁夫委員と(財)食品薬品安全センターの太田 亮委員が担当しています。

第 12 回セミナーは下記の 5 名の先生にご発表していただきます。

【演題】精巣形成不全症 (*hgn/hgn*) ラットの病態解析と遺伝解析

鈴木 浩悦 先生 (日本獣医生命科学大学 獣医生理学教室)

「セルトリ細胞は精巣の発達と精子形成において主役を演じる。精巣形成不全症 (*hgn/hgn*) ではセルトリ細胞の異常分裂とアポトーシスを示し、精細管の発達が障害され精子形成が見られない。このラットの解析からわかってきた知見を紹介する。」

【演題】ダイオキシンの精巣機能への影響～内分泌攪乱化学物質問題のその後～

大迫 誠一郎 先生 (東京大学大学院医学系研究科 疾病生命工学センター 健康・環境医工学部門)

「ダイオキシン (TCDD) の精巣への影響を中心に、精子数の減少など雄の生殖機能異常が低用量暴露で生じるのかについて、これまで実施した動物実験を総括して、次世代生殖に問題が生じうるのか可能な限り科学的に考察したい。」

【演題】 β -ヘキサクロロシクロヘキサンの一世代繁殖試験で誘発された次世代の生殖機能障害について

並木 正人 先生 (株式会社三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所 安全性第 2 研究部)

「内分泌かく乱物質とされる β -ヘキサクロロシクロヘキサンの一世代繁殖試験において、次世代に重篤な生殖機能障害が確認された。これについて紹介する。」

【演題】幼若ラット子宮の Wnt およびヘッジホッグ関連遺伝子の発現におけるエストロゲン様活性物質の影響

片山 誠一 先生 (株式会社三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所 薬理研究部)

「Wnt およびヘッジホッグは生命現象において鍵となる分子であり、その発現は胎児から成体までの様々な分子過程を通して正確に制御される必要がある。今回は、子宮におけるそれらの遺伝子発現に及ぼすエストロゲン様活性物質の影響について紹介する。」

【演題】発達から老化に至る過程の生殖発生毒性検索

太田 亮 先生 (財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所)

「我々が実施した SD ラットを用いる一生涯試験の中で、生殖器系の発達から老化に至る過程での影響を、生殖発生毒性試験で一般的に用いられている手法を用いて検索したので、紹介する。」

セミナー終了後に懇親会を企画しています。会員相互の親睦を深めると共に情報交換の場としてご活用ください。皆様の多数のご参加をお待ちしています。なお、懇親会では水谷 正寛先生による「雑談：私が生殖発生毒性試験に従事し始めた頃のこと」をお話ししていただく予定です。

敬具

<セミナー実行委員>

松浦 郁夫	(株)三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所
太田 亮	(財)食品薬品安全センター 秦野研究所
大山 直樹	三菱ウェルファーマ(株) 安全性研究所
下村 和裕	第一製薬(株) 安全性研究所
堤 俊輔	大正製薬(株) 医薬研究所
原 洋明	(株)イナリサーチ
浅野 裕三	(株)ボゾリサーチセンター 函南研究所
北條 仁	(財)残留農薬研究所
中島 幹夫	旭化成ファーマ(株) 開発研究所
三分一所 厚司	三共(株) 安全性研究所
坂 芳樹	万有製薬(株) 安全性研究所
白川 誉史	アステラス製薬(株) 安全性研究所

第 12 回 生殖・発生毒性学東京セミナー

日時： 2007 年 2 月 3 日（土） 13:20～16:50
会場： 「独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター」
センター棟 3 階、309 室
懇親会： カルチャーセンター棟「レストラン とき」
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1
TEL 03-3467-7201 <http://nyh.niye.go.jp>
小田急線 参宮橋駅 7 分
地下鉄千代田線 代々木公園（代々木公園西門前出口）10 分
会費： セミナー：1,500 円（当日）
懇親会：3,500 円（当日）
（セミナー・懇親会ともに、ノーネクタイのカジュアルな服装でご参加ください）

プログラム

-
- | | |
|----------------|--|
| 13:00～13:20 | 受け付け |
| 13:20～13:25 | 開会のことば
松浦 郁夫 ((株)三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所)
座長 松浦 郁夫 |
| 1. 13:25～14:15 | 「精巣形成不全症 (<i>hgn/hgn</i>) ラットの病態解析と遺伝解析」
鈴木 浩悦 先生 (日本獣医生命科学大学) |
| 2. 14:15～15:05 | 「ダイオキシンの精巣機能への影響～内分泌攪乱化学物質問題のその後～」
大迫 誠一郎 先生 (東京大学大学院医学系研究科) |
| ～15:20 | 休憩
座長 太田 亮 ((財)食品薬品安全センター 秦野研究所) |
| 3. 15:20～15:50 | 「 β -ヘキサクロロシクロヘキサンの一世代繁殖試験で誘発された次世代の生殖機能障害について」
並木 正人 先生 ((株)三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所) |
| 4. 15:50～16:20 | 「幼若ラット子宮の Wnt およびヘッジホッグ関連遺伝子の発現におけるエストロゲン様活性物質の影響」
片山 誠一 先生 ((株)三菱化学安全科学研究所 鹿島研究所) |
| 5. 16:20～16:50 | 「発達から老化に至る過程の生殖発生毒性検索」
太田 亮 先生 ((財)食品薬品安全センター 秦野研究所) |
| ～16:55 | 閉会のことば
太田 亮 |
| 17:10～18:40 | 懇親会
「雑談：私が生殖発生毒性試験に従事し始めた頃のこと」
水谷 正寛 先生 |
-

（事務局から） 職場内等で回覧、掲示をお願いします。参加希望者は、1 月 31 日までに事務局にお知らせください(セミナー、懇親会それぞれ明記して下さい)。その際、参加者全員の氏名・所属・連絡先（住所、TEL、FAX、e-mail）をご記入ください。申し込みは e-mail 又は FAX でお願いします。なお、当日受付も行いますが、資料を配付できない場合もありますのでご了承願います。

事務局 日本バイオアッセイ研究センター

試験管理部 生殖発生試験室

奥田 裕計

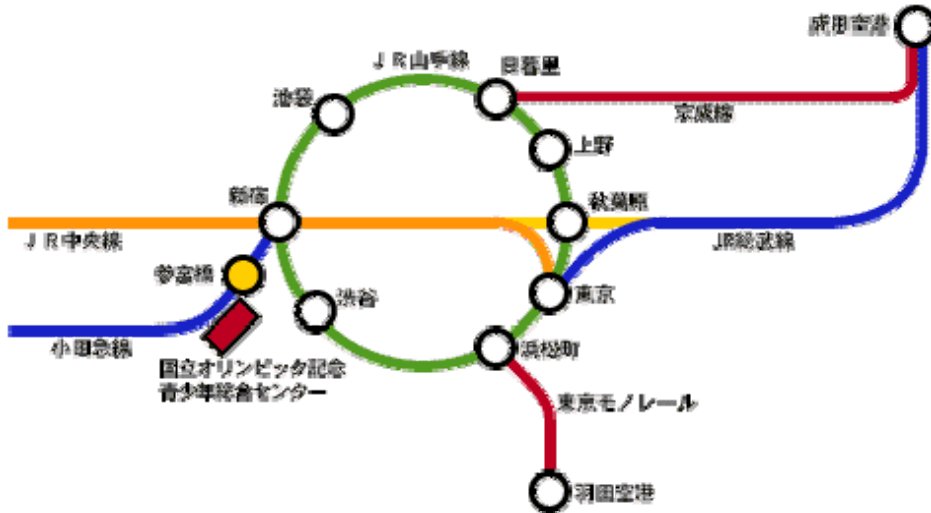
〒257-0015 神奈川県秦野市平沢 2445

TEL : 0463-82-3911

FAX : 0463-82-3860

e-mail : h-okuda@jisha.or.jp

セミナー会場へのアクセス



※赤線は、参宮橋駅からの歩道橋を使った経路です。
青線は、参宮橋駅からの横断歩道を使った経路です。

**会場：センター棟
3階、309室**

